



# 世界の ミカタタイムズ



発行：学校から世界のミカタを考える会

2017年、今年もミカタをよろしく申し上げます！

メンバーの  
イメージカラー  
が決まったよ！

## 2016年を振り返って

昨年も世界では様々な出来事がありました。皆さんは何を思い出しますか？

イギリスのEU離脱やアメリカ大統領選挙でしょうか。PPAPの全世界的大流行もありましたね。



では、20米ドル札の肖像画が黒人女性に変更になることはご存知ですか？  
他にも、インド軍の採用試験が下着姿で実施されたことは？

通常、私たちがテレビやラジオ、インターネット、新聞などを通じて得られる情報はとても限定的です。一方、実際の世界はもっと広く、多様で、そして奥深い。

そんな世界の面白さを多くの人に感じてもらいたい。きっとそのために必要なのは特別な知識や経験ではなく「世界の見方」を少し変えるだけなんじゃないか。

そんな思いで<学校から世界のミカタを考える会>は昨年1月に誕生しました。

設立当初は準備会からスタートし、月1回程度の勉強会やゲストを招いてのセミナーなどの手探りながら自前の事業を細々と実施していた団体の活動も徐々に認知されてきたのか、11月には宗像市役所からの依頼で市民を対象とした国際理解のための研修、12月には中間市の教職員からの依頼で教員のための研修など、様々な形で声をかけていただけるようになりました。また、2017年は既にJICA九州と共催で「開発教育指導者研修」を1月に佐賀、鹿児島で、2月に熊本でと巡回型で実施することが決まっています。※詳細はJICA九州もしくは団体ホームページなどでご確認ください。

自問自答を繰り返しながら一步一步進んできた1年間でしたが徐々に活動の幅が広がってきていることから今の時代に必要とされている活動ができているのではないかとわずかではありますが手応えを感じているところです。

2017年、2年目を迎える「世界のミカタ」は、活動の幅を広げてメンバーそれぞれが特色を持ったコンテンツを育てていく予定ですのでこれからの成長にご期待ください。また、変わらぬご支援をよろしくお願いいたします。

学校から  
**世界のミカタ**  
を考える会

教えてちよっとだけ！  
国際理解教育入門

そもそもESD/開発教育って何？  
“世界のミカタ”は何をしているの？

ESDや開発教育と聞くとまた新しいことか、勘弁してくれと思われるかもしれませんが、実はこれまでにされてきている取り組みの延長線上にある教育活動です。

学校現場でよく使われる言葉に言い換えると「グローバル人材育成」や「国際理解教育」「道徳教育」あるいは「外国語（英語）教育」もしかしたら「キャリア教育」などの枠組みと捉えられて実践されている学校もあるかもしれません。 ※このコーナーのタイトルでは比較的認知度が高い「国際理解教育」を使用しています。

ESD (Education for Sustainable Development : 持続可能な開発のための教育) は言葉の通りで「これから先も世界が続いていくために様々な問題を解決できる人材を育成していこう」という世界規模で取り組まれている教育で、日本の文科省も積極的に推奨しています。

日本で生活をしていると忘れられがちですが、環境、貧困、平和、食料、人権、開発など意識して目を世界に向けると問題は山積みです。それらを自分たちの問題であると捉え、新たな価値観や行動を生み出し、解決できるこれからの時代の問題解決型リーダーの育成に皆さんも取り組みませんか？

世界のミカタでは、実施者間の情報交換の場やスキルアップのためのセミナー/研修会などを月に一回程度のペースで行ったり、地域のイベントでのESDの啓蒙活動を行ったり、自治体や教職員からの依頼を受けてファシリテーションスキル習得のための研修会や、国際理解教育ワークショップの実践研修会などを実施しています。

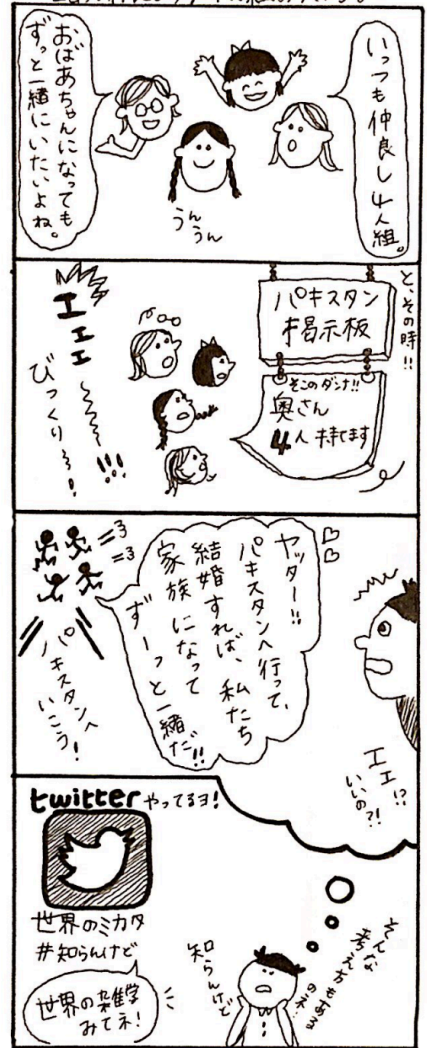
基本的にオープンな会ですし、教員はもちろん、自治体職員、会社員、主婦（夫）など幅広い参加者で構成されているのでご関心があればぜひ一度ご参加ください。

次回以降、ここでは国際理解教育におけるちよっとしたスキルや手法、テクニックなどを紹介する予定です。

▲ミカタまんが▲▽▲▽

一夫多妻へのあこがれ

とある仲良し女子4人組のハナシ。



Follow us!!

世界のミカタ

(@sekai\_no\_mikata)



今月の写真

どこの国かわかるかな？



撮影：ナツ

このコーナーではメンバーが撮影した世界の風景を切り取ってご紹介します。

紙面の都合上サイズが小さくなっていますので、大きな写真は世界のミカタのホームページでご確認ください。

初めまして、このコラムを担当することになりました新米ママのちなつです。娘は現在1歳9か月。桜の花のように「日本のアイデンティティを持ちつつ世界中に愛される」そんな願いをこめ、娘に「さくら」と名付けました。これは私たち夫婦のグローバル教育の原点です。留学経験があり、さらに青年海外協力隊を経験した者同士なので周りからは「さくらちゃんはグローバルな人間に育ちそうだね」と言われます。しかし、そもそもグローバルな人間って何でしょう？日本人としてのアイデンティティをしっかり持ちつつ（ここが大事!）、多様性を受け入れ、世界にも目を向けながら自分の居場所を確立していく。それができれば国内外どこにいたとしてもグローバル人材だと思っています。これからは、そんなママの子育て奮闘記を書いていきますのでよろしくお願ひします。



ちなつママの  
グローバル子育て日記